

## 四天王寺悲田院特養・在宅

科学的介護システムLIFEを各事業に導入し、利用者に科学的根拠に基づく支援を行っていきます。ご利用者が住み慣れた在宅生活を継続できるよう居宅介護サービスにおいて複数の専門職と連携し、ご利用者や地域のニーズに取り組んでいきます。在宅生活から特別養護老人ホームに入居する場合も、利用者が望む暮らしを実現できるよう支援していきます。

また、地震や感染症の蔓延等に緊急事態を想定し、羽曳野市と連携し複合施設である悲田院全体の防災対策や事業継続計画（BCP）の作成に取り組んでいきます。

### ～具体的な事業活動～

#### (1) 特別養護老人ホームでのユニットケアの推進

ご利用者が望む暮らしを実現できているか、職員主体の支援になっていないかどうか職員間で確認し、ご利用者が安心して生活できるよう福祉用具やICT機器の導入に取り組みます。職員にはユニットケア研修や認知症ケア、感染症対策等の人材育成に取り組みます。また、昨年度より受け入れた外国人材への日本語研修や介護技術を支援していきます。

#### (2) 地域包括ケアの推進

四天王寺悲田院においては訪問看護や訪問リハビリ、デイサービス等の様々な居宅介護サービスを提供していることから事業所間で連携し、地域で困っている潜在的なご利用者のニーズを把握し、CSWやケアマネジャーを通じて支援していきます。

#### (3) 設備更新計画と経営管理

悲田院食堂棟の修繕計画を作成し、計画的な設備更新を行えるよう積立金を確保していきます。また、法人本部への繰入金を確保できるよう稼働の向上に取り組みます。

#### (4) 大規模災害対策

羽曳野市福祉施設連絡会を通じて防災研修を行い、大規模災害を想定した防災対策や福祉避難所として物品や人員の提供、人員の派遣等を検討していきます。

### ～改善活動～

#### (1) ハラスメント対策と離職防止

職場でハラスメントが起こらないよう予防していくための研修と、職員が意欲的に働きやすい職場環境を構築できるように取り組めます。離職防止の観点からも小まめな面談を行い風通しの良い職場環境を目指します。

#### (2) 業務改善

科学的な根拠に基づいた利用者支援を行い、改善報告会等を通じて情報発信していきます。転倒等のリスクマネジメントや認知症ケア等の利用者支援に生かせるように取り組めます。

#### (3) 職員満足

他事業の職員間で交流する機会を設け、人材育成やスキルアップを図ります。